

# 議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

 八丈町

No.195

2020.8.25 発行

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます  
<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>



笑顔で観光客を迎え入れる空港カウンター

観光の総合窓口として

八丈島観光協会



底土船客待合所のカウンター

八丈島の観光の窓口となる一般社団法人八丈島観光協会。観光案内や会員に対する情報提供が主な仕事ですが、今年は春先から新型コロナウイルス感染症の拡大で観光が大きな打撃を受けるなど、例年のない難しい対応を迫られてきました。コロナの収束はまだ見えませんが「島民の安心をはかりながら、八丈島の魅力を発信し続けます！」との変わらぬ決意にはエールを送ります。取材者・山下則子

## CONTENTS

### コロナ禍における 八丈町独自の支援策決定！

- 2P 第2回定例会
- 3P 一般質問
- 5P コロナ関係の集中審議より
- 6P 島内見学レポート
- 8P 町民の声



観光協会事務所のインフォメーションカウンター

# 第2回定例会

令和2年6月11日

## コロナ禍における 八丈町独自の支援策決定！

令和2年第二回八丈町議会定例会一般質問では、3名の議員が一般質問に登壇し、八丈町独自の支援金と、テレワーク推進による今後のICT活用、そして、ふるさと村再建に関する今後の運営について、更に、緊急事態宣言後の島の復興や巣立った若者への支援策等、質疑が行われました。

補正予算審議では、新型コロナウイルス対策に関連した集中審議が行われ、八丈町独自の経済支援として、令和2年6月から8月までに請求する水道料金は八丈町で全額補助することが決定しました。

総務省による個人向けの特別定額給付金（10万円）、経済産業省による事業者向けの持続化給付金をはじめ、中小企業庁による事業者向けセーフティネット保証制度4号・5号、危機関連保証制度等、様々な窓口業務に八丈町職員が一丸となって対応しているとの報告がありました。

新型コロナウイルス感染症緊急対策基金費の積立金6千百万7千円の東京都交付金は新型コロナウイルス感染症対策に広く対応できる基金となります。今後それぞれの事業が確定してから充当していく予定であると報告がありました。そして、商工振興費から新型コロナウイル



マスクを付けての町議会審議

ス感染症緊急対策事業継続支援金9千万円について、国の持続化給付金や東京都新型コロナウイルス感染拡大防止協力金対象外の方々へ、50万円を上限として300の事業者が予定されています。個別に相談場所が設けられていなかったため、申請手続きについて困っている住民が多かったことから、町の対応の在り方が問われました。新型コロナウイルスの影響により、新たな日常について働き方改革と、将来を見据えた町のビジョンに対する質問もあり、八丈町長より、ICTを含め、観光に繋がるキャッシュレス推進、国交省予算に関する利活用の検討も含め、八丈町構想を新しい日常に対応して、構築していくという回答がありました。官民連携によるコロナ時代の新たなニーズへの対応が求められています。

(宮崎陽子)

### 主な議決事項

#### 6月定例会

令和2年6月11日開催

- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（平成31年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分6件
- ◎ 平成31年度八丈町一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ◎ 八丈町職員懲戒審査委員会補充員の任命の同意について
- ◎ 令和2年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算2件
- ◎ 八丈町新型コロナウイルス感染症緊急対策基金条例 ほか条例2件
- ◎ 八丈町防災行政無線デジタル化工事請負契約
- ◎ 議員の派遣承認について（南大東村訪問）

### 主な会議事項

#### 全員協議会

令和2年6月2日開催

- ◎ 新型コロナウイルス感染症対策による来島自粛等の段階的解除に向けた町独自のガイドライン作成について

#### 全員協議会

令和2年6月11日開催

- ◎ 粗大ごみ処理の100kg未満の有料化について

#### 議会運営委員会

令和2年6月4日開催

- ◎ 令和2年第二回八丈町議会定例会について



# 一般質問

6月11日  
質問者3人

6月定例会では、町政全般へ3名の議員が5項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿については、質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに要約したものととなっておりますのでご了承ください。

質問の録画映像はインターネットでもご覧いただけます。

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie/movie021.html>



宮崎陽子議員

所要時間 14分

## 八丈町独自の特別支援金について

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として外出自粛要請等の行動制限に伴う、負の経済効果について、世界的な問題になり、今までの経済構造や秩序が大きく変化している。

**問** 八丈町からの具体的な支援はどのように行われるのか、住民の方々から多くの声が寄せられている。今一番求められていることは、日々生活する上で必要な経済的支援を第一に構築して、住民の方々へ迅速に給付する事が重要。八丈町として、現在検討されている支援策、またはすでに決定されている独自の経済的配慮等、具体的に八丈島の人々の不安を緩和できるように、前向きなご回答を問う。

**答** 総務課長 現在、八丈町で行われている特別定額給付金について、4291世帯が対象の中、3898件、今現在91%の給付実績になった。ご質問の八丈町独自の支援策については、町民の皆様が直接影響がある生活面に配慮しての支援策、そして島内における新型コロナウイルス拡大防止に向けて、島を守っていただくために、経営困難な事業者の方々に十分配慮しての支援策を本日、この後の補正予算で上程するので、よろしくお願ひしたいと思う。

## 総務省令和2年度テレワーク専門家無料案内と今後のICT活用について

新型コロナウイルス対策により、ICTを活用した在宅ワークが推進される一方で、八丈町も業務の効率化とプロセスの再統合、更に

は最適化を目指していくことが大切である。

**問** テレワークの本格的な導入について八丈町ではどのようにお考えなのか問う。

**答** 総務課長 今後について、新型コロナウイルス対策は災害として対応している。八丈町地域防災計画の見直し作業の中で、八丈町業務継続計画についても以前、宮崎議員からご質問があり、こちらにも関連しているの、慎重にテレワーク業務内容と課題等を調整しながら今後も進めていかなければならないと考えている。



沖山恵子議員

所要時間 20分

## ふるさと村再建で茅葺屋根を採用しない理由はなにか

ふるさと村は、島の観光の要だが、茅葺屋根ではない方法で再建する予定と聞いた。新型コロナウイルスで観光業が低迷しているなか、多くの観光地が新しい観光の形を模索し、特徴があり感動を生む観光地をめざし、準備しているようだ。ふるさと村が再建されれば、20年、30年とその姿のままお客様をお迎えすることになる。普通の屋根では、煙が出る囲炉裏の設置も難しいと思う。今だからこそ、将来を見据えた投資と準備が必要だと思うが、お客が何を求めて島に来て、ふるさと村を訪れるのか、考察しているか。

**問** 八丈町は観光に対しどのようなビジョンを持ち、この施設を再建しようとしているのか。

**答** 産業観光課長 八丈町基本構想に基づき持続可能な観光地をめざしている。ふるさ

と村は島の昔の生活を知るとともに来場者に飲み物を提供するもてなしの場として位置付けている。

**問** どのような設計か。

**答** 居間と6畳和室、縁側、便所、台所があり約26坪、前より若干大きい建物になる。

**問** 茅葺屋根を採用しない理由はなにか。

**答** 建物の屋根は薄い板材で、茅葺は改修価格やメンテナンス費用が掛かるため断念した。

**問** 島民にとって必要不可欠な物（ゴミ焼却場）は高くても造る。観光は必要不可欠な存在で、ふるさと村はそれを目的に来る価値のある、観光客を満足させられる観光上重要な物だと思う。歴史を知る建物を価格の問題で簡易な物を造って良いのか、設計を含め検討して欲しい。また茅葺でないことを町民がどう思っているのか調べたのか。こんなはずではなかったと思われないか。

**答** 同じような建物を搜したがなかったので形は変わる。茅葺については、関係者には聞いたが広く町民には聞いていない。新たに茅葺にするには3,000万円の費用と構造上の問題もあるので理解して欲しい。

**問** 今後の運営はどのようにするのか。

**答** シルバー人材センターに委託、飲み物の提供と太鼓など以前と同じようにする予定である。



山下 巧 議員

所要時間 21分

## 緊急事態宣言解除後の島の復興について

**問** コロナウイルス拡散防止の緊急事態宣言を受けて、島の主幹産業である観光商工業業すべてが大きな打撃を受けた。航空機も一日

1便体制となり移動制限や観光自粛が続き、緊急事態宣言は解除となっても島の将来に大きな影を落とす状況にある。島を感染から守りながら経済をまわし、復興を目指す町の考えを問う。

**答** 産業観光課長 緊急事態宣言の全面解除後、国から4段階の緩和目安が出され全国的移動も可能となっている。東京都においては東京アラートが発令されるなど予断を許さない状況となっているが、都内等での感染症発症状況をみて、受け入れ体制を構築した上で6月19日の来島自粛要請の緩和を観光協会と協議している。観光業の回復には、航空機の便体制がカギとなる。現時点でできることとして、東京都や旅行会社との情報交換を密にしながら、Go Toキャンペーン等を含め対策を講じる。

**問** お客様も受け入れ側も安心安全が担保される感染症対策を徹底していただきたい。

**答** 受け入れの安心安全のために協会とガイドラインを作り、宿泊施設と情報共有し町の支援をしていきたい。

## 巣立った若者への支援策は

**問** この春、八高生をはじめ多くの若者が希望をもって都会へ羽ばたいていった。時期を同じくして巣ごもり生活を余儀なくされ、帰省したくても島に帰れない状況が続いた。生活物資など、故郷からの贈り物を届けている自治体があると聞くと、このような支援は生まれ育った故郷に愛されていることを実感し、郷土愛にも繋がると考える。町の支援策は。

**答** 総務課長 八丈町では6月より東京都離島住民航空割引カードが学生適用も可能となった。この制度の使用促進をはかり支援したい。感染症終息後はこのカードを利用して帰省をしていただきたい。

**問** 支援対象年齢範囲と航空券の他、船の活用は。故郷に見捨てられた感があるとよくない、励ましのメッセージを添えて対応願いたい。

**答** 対象範囲の設定、船も含め検討する。

# コロナ関係の集中審議より

新型コロナウイルス感染症に関する集中審議を行いました。他にも多数の質問が上がりましたが、状況も変化しているため抜粋して掲載します。

**問** 金川孝幸 議員 来島自粛要請を解除するという条件とは何なのか。

総務課長 国からの目安と東京アラート解除の状況を加味し、6月19日を考えている。

副町長 町立病院の医療体制が拡充しているわけではない。病院ではどんな受け入れができるか、何かがあった時にどうするかを同時進行で考える。

**問** 山本忠志 議員 収束後の新しい形を踏まえた町のビジョンは。

町長 観光推進だけでなく、教育やキャッシュレス化の推進などICT関連の事業を進める。キャッシュレスについては、銀行と協定して進めていこうと考えている。

**問** 山本忠志 議員 授業数の確保のために夏休みを短縮するが、特別教室にはエアコンがない。熱中症対策はできているのか。

教育課長 夏期の特別教室の授業については、通常の教室で可能なものを優先して行う。

**問** 山下則子 議員 オンライン授業が始まったが、学校によって格差は発生していないか。

教育課長 各学校工夫して行っているので、格差が生じているという認識はない。

**問** 山下則子 議員 病院での密集を防ぐ手立ては考えているか。

事務長 どうしても密になってしまう。リハビリの方は訪問で、外来の方は次回の診療日までを長くともっている。当初、ひとつずつ席をあけることも検討されたが物理的に難しい。

**問** 菊池 良 議員 ロードマップやガイドラインは、事業者の立場にたった詳細なもの

を。

産業観光課長 観光協会は受け入れについてのガイドライン素案を用意している。今後、町のロードマップができた際にすり合わせをする。

**問** 菊池 良 議員 都の協力金に関して、都の出先機関としてある八丈支庁が対応するよう要望書を出しては。

**問** 岩崎由美 議員 都の協力金について、支庁がなぜ対応できないのか。

産業観光課長 誤った情報を発信しないように相談窓口は都の相談センターに一本化することのこと。

**問** 岩崎由美 議員 保護者が仕事で上京した際、その子どもが、保育園に来ないでと他の保護者から言われるようなことがないようにしてほしい。

福祉健康課長 保育園は3密になりやすいので、現在は上京の有無にかかわらず登園の自粛をお願いしている。

**問** 浅沼隆章 議員 小中学校の学校行事についてはどのようになるのか。

教育長 水泳は今年度中止。遠足等は3学期にずらして実施を検討。合唱はできる範囲で。運動会は密にならないよう保護者にも協力してもらって行う。修学旅行など他府県に行くものは工夫して実施する。

**問** 浅沼憲春 副議長 一番の弱者である高齢者への支援が少ないように感じる。たとえばシルバー人材センターに優先的に仕事をまわすようなことはできないか。

企画財政課長 シルバーに業務委託している町の施設が閉鎖している状況。可能な業務については協議しながらやっている。



# 島内見学レポート 八丈町給食センター

日時 令和元年8月8日

参加議員 宮崎陽子・浅沼隆章・山下則子・山本忠志・冲山恵子・菊池良・山下巧・  
岩崎由美・廣江才

6、7ページのレポートの内容は、昨年夏の見学後に書かれたものです。時間が経過していますことをご了承下さい。（編集委員）

## 担当職員との意見交換も



給食センターの視察を行い、担当職員と意見交換を行いました。

昨年度から利用者の皆様にご心配をおかけしていた炊飯器も個別に炊くことができるものを購入し、1つ壊れても対応ができるものとなりました。手作業が増えたものの作業効率は上がり、炊きむらもなく今までできなかった料理もできるようになり、美味しいご飯を提供できるようになっています。



新たに導入した炊飯器

事前質問以外の話として、昨年坂上地区の配送車を購入した件や令和2年度に買い替える予定だった坂下地区の配送車が夏休み1週間前に壊れ、前倒しで購入を考えている件、また現在13名で運営している給食センターの人員が不足しているため、委託業者が確保に苦慮している件等、課題が山積している現状を確認しました。安全で美味しい給食を安定的に提供するため今年度は長寿命化計画を策定し、厳しい職場環境の改善を含めて対応できるように検討するための良い視察になりました。

最後に八丈島の子供たちのために給食を作っている関係者の皆様のご努力に感謝させていただきます。

(浅沼隆章)



入れ替えた配送車

質問内容として

- インフルエンザ対策としてヨーグルトを取り入れられないか
- 食べ残しの現状と処理方法
- 1食分の塩分量、ご飯は美味しくなったか
- 老朽化が進んでいるが衛生面や計画的な運営や管理が行われているか
- 修繕しなければいけない箇所があるか  
——などの意見交換を行いました。

お詫びと訂正

前号の「議会だよりNo.194」6ページの冲山恵子議員の一般質問の中の病院事務長の回答の後の、文末が抜け落ちていました。正しくは「皆様の意見を参考に良い方法を考える」です。お詫びして訂正致します。

# 島内見学レポート

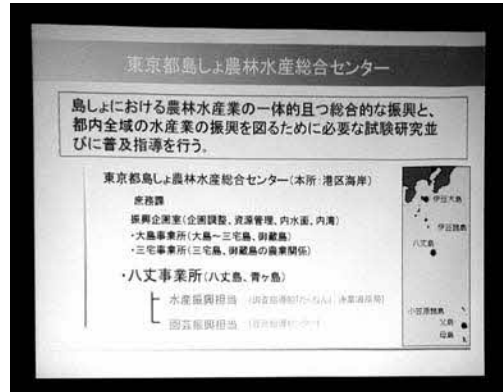
## 東京都島しょ農林水産総合センター

日時 令和元年9月3日(火)

参加議員 宮崎陽子・浅沼隆章・山下則子・山本忠志・沖山恵子・菊池良・小川一・  
山下巧・岩崎由美・廣江才・奥山幸子



農業と漁業は島の産業の要です。その研究や指導で下支えする都の「島しょ農林水産総合センター八丈事業所」の見学に行きました。



### ◇ 農林合同庁舎 園芸振興担当



研究員からレイプランツの説明を受ける

八形山のフリージア畑の隣にある農業関係事業所(農林合同庁舎)は、新しい品種の導入や研究、農作物の普及指導、過去栽培された園芸品種の遺伝資源保存などを行っています。

10棟以上あるハウスには膨大な数の作物が植わっており、地域の特色を生かした今後有望な品種や、珍しい品種、島ではよく見られるけど貴重品種の説明を受けながら見学しました。また、複数のハウスを使い八丈フルーツレモンの栽培管理技術の開発や、病虫害防除対策の研究をしている様子を見せていただきました。



ハウス内を見学

### ◇ 水産庁舎 水産振興担当

神湊の先にある水産関係事業所(水産庁舎)は、魚が泳ぐ水槽が出迎え、ミニミニ水族館のようです。広く公開し観光にも一役買って欲しいと思い、老朽化した建物の建て替えを議会から都にお願いしていますが、なかなか順番が回ってきません。今後も強く要望していきたいと思っています。

この事業所は調査指導船「たくなん」を保有し、効率的で安全な操業のための海洋調査や漁場の調査をしてい



展示水槽には漁業者などから届けられる海洋生物が飼育されている

ます。毎年取れる魚の量や種類は変化しており、安定した操業のために、いつどの漁場でどの魚を取ったら良いかなどを、実際に試験操業をしながら研究しているそうです。

また、東日本大震災の時に活躍した漁業無線の基地が八丈にもあり、いざと言う時には役に立てると思う、町とも協力していきたいと話していました。

(沖山恵子)



## 若者インタビュー

八丈高校生徒 浅沼 <sup>いつみ</sup> 唯紬さん

SDG'sのワークショップに参加した感想、将来の夢、町（行政）に望むことを教えてください。

ワークショップのテーマはLGBTを選びました。それまで、漠然と思っていたことは間違っていないかったけれど、本当はもっと深い問題だと気づきました。

将来の夢は、ウエディングプランナーです。そして今回のことを学んで、男女に限らず、どんなカップルでも結婚式を挙げられるようになれば良いなと思いました。もしも八丈島でその様な式ができれば、きっと八丈島はジェンダーへの理解があると有名になるんじゃないかな。

社会的な問題について、ある程度の理解力がついてきた中高生に学ばせるのではなく、何にでも興味の持てる幼少期の頃から学んでいけば、たとえばジェンダー問題への差別が無くなる等、

もっと暮らしやすい世の中になると思います。

もちろんカリキュラムの課題など今すぐには難しいかもしれませんが、いつかそういったことができるようになれば良いなと思います。そういえば八高の制服ですが、スラックスを導入したので女子はスカートだけでなくズボンとネクタイがOKになりました。男子のスカートとリボンも普通になる日がくるかもしれませんね。



(岩崎由美)

## 知恵袋インタビュー

## 90歳 沖山美登子さん

昭和5年生まれ90歳的美登子おばは、7人の子と10人の孫を持つ末吉の名物おばあちゃんです。芸も達者で、運動会や演芸会のひょうきんな姿は年配の方なら見たことがあるはず。炊事洗濯は元より、籠をしょって山に作物を作りに行くバリバリの働き者です。今回、昔からの知恵や工夫を聞きました。

## 「お湯は庭の雑草に掛ける」

草取りは大変だが、野菜やソーメンをゆがいた湯は、やかに移しとちい庭の雑草に掛けると、草は枯れてアリもまるんで一石二鳥でよけだら。特にアスファルトの隙間の草は取りにくくって湯をかけると楽になるよ。

## 「外出はほうきを持って」

あが子供のころは、掃除の日があって、木曜と土曜日は竹ぼうきを持って登校して、道路や墓など地域の掃除をしたもんだら。人目に付く場所はきれいだと気持ちよくて、皆でやればいつもきれいなのに、今の人は庭を掃かずに学校でも教えない。U字溝のふたにたまった落葉は、そのつど掃除すれば雨水が流れて洪水にならないよ。



## 「じゃが芋を茹でておけば何とかなる」

忙しい時にじゃが芋を茹でておけば、おやつになるし、衣を付けて揚げれば夕飯のおかずがすぐできて便利だよ。芋は茹でて冷蔵庫に入れとくとよけだら。

畑は一日一つのことをしてあればよけて、家事より体が楽で、できた物を、子どもや孫に送ると「ばあば、ありがとう」と電話が来るのが楽しみだあじゃん。

(沖山恵子)

## [あしがき]

6月末、野球ボールほどの大きさになったスイカを眺めながら、子供たちが小さかったころを思い出しました。夏の暑い日に汗びっしょりになって、皮のぶ厚い八丈スイカの白い部分まで、むしゃぶりついていた姿… 懐かしい思い出です。

コロナ禍で例年どおりといえぬ今年の夏、短くなった夏休みが、子供たちにとって充実した楽しいものであることを願っています。

(山下則子)

発行人 八丈町議会議長 奥山 幸子

編集 議会だより編集委員会 委員長 岩崎由美 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

